

「シンガポールの賃金動向（2010年6月）」

2010年の基本給賃上げ率は2.8%。賞与支給月数は2.2ヵ月

三菱東京UFJ銀行
国際企画部CIBグループ

シンガポールの調査機関が2010年5月に実施したアンケート結果では、2010年の基本給賃上げ率は2.8%に上昇。賞与支給月数(AWSを除く)も2.2ヵ月に増加する見込みです。

1. 企業の基本給賃上げと賞与支給の動向(調査会社の調査結果)

シンガポール人的資源研究所(SHRI)とレミュレーション・データ・スペシャリスト(RDS)が2010年5月に共同で実施した調査結果(回答社数164社、以下『調査結果』)によると、シンガポール企業の2010年の賃上げ率(見込み)は2.8%となった。景気の回復を受けて、2009年実績の1.2~1.3%から1.5~1.6ポイント上昇している。

賞与支給月数(除くAWS[※])は、2009年実績1.4~1.9ヵ月、2010年2.2ヵ月となっており、2010年は0.3~0.8ポイント上昇している。以下に本調査結果の要旨を記載する。

(1) 賃上げ率、賞与支給月数のサマリー

調査結果によると、昨年・今年の平均賃上げ率、賞与支給月数は以下の通り。

【シンガポール：企業の平均賃上げ率、賞与支給月数(AWSを除く)】

	実績	見込み
	2009年	2010年
基本給賃上げ率	1.2~1.3%	2.8%
賞与支給月数(除くAWS)	1.4~1.9ヵ月	2.2ヵ月

(出所) SHRI、RDS調査結果(2010年5月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※AWS=Annual Wage Supplement。年間補助給与と訳される。シンガポールでは企業によっては「給与の1ヵ月分あるいは2ヵ月分相当をAWSとして支給する」としているケースがある。

(2) 賃上げ率について

2010年の基本給の賃上げ率見込みは2.8%。2009年の平均賃上げ率1.2~1.3%と比べると1.5~1.6ポイント上昇している。回答企業の79%は、今年の基本給の上げ幅を増加させると回答しており、この比率は、2009年9月調査時点の54%から大幅に上昇している。なお、今年基本給を据え置く事業は18%、基本給をカットすると回答した企業は1%に留まっている。

業種別では、エレクトロニクス関連業界(IT/Hi Tech)の賃上げ率が最も高く3.8~4.5%。最も低いのは建設業界で1.0%である。

【シンガポール：企業の平均賃上げ率】

	実績	見込み
	2009年	2010年
全体の平均賃上げ率	1.2~1.3%	2.8%
Managerクラスの平均賃上げ率	1.2%	2.8%
Executivesクラスの平均賃上げ率	1.3%	2.8%
Non-Executivesクラスの平均賃上げ率	1.3%	2.8%

(出所) SHRI、RDS調査結果(2010年5月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※Executivesクラス=専門学校卒業(Diploma)の一般社員、エンジニア等、
Non-Executivesクラス=経理事務などを担当している社員。

(3) 賞与(AWSを除く)

2010年の平均賞与支給月数は、2.2ヵ月と2009年の1.4~1.9ヵ月から増加している。クラス別には、2010年については、マネージャー2.2ヵ月、エグゼクティブ2.2ヵ月、ノン・エグゼクティブ2.2ヵ月である。業種別では、最も高いのが建設関連業界の2.3~3.0ヶ月、最も低いのが教育関連の0.8~0.9ヵ月となっている。

【シンガポール：企業の賞与支給月数(AWSを除く)】

	実績	見込み
	2009年	2010年
全体の平均賞与支給月数	1.4~1.9ヵ月	2.2ヵ月
Managerクラスの賞与支給月数	1.9ヵ月	2.2ヵ月
Executivesクラスの賞与支給月数	1.7ヵ月	2.2ヵ月
Non-Executivesクラスの賞与支給月数	1.4ヵ月	2.2ヵ月

(出所) SHRI、RDS調査結果(2010年5月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※AWS=Annual Wage Supplement。「年間補助給与」と訳される。シンガポールでは企業によっては「給与の1ヵ月分あるいは2ヵ月分相当をAWSとして支給する」としているケースがある。

※Managerクラス=係長クラス、Executivesクラス=Diploma程度のクラス、
Non-Executivesクラス=経理事務などを担当している社員。

(4) AWS

AWSについては、ほとんどの企業が支給する。平均支給額は基本給の1.0ヵ月分である。

(5) 社員の採用

2009年中に社員を採用する予定の企業の比率は74%に上昇している。(2009年9月の調査時点では68%であった。)

(6) 新入社員の給与水準

【シンガポール： 新入社員の月額給与】 (S\$)

		2009年1月	2009年8月	2010年5月	前回比 上昇額
標準教育認定	GCE 'N'	1,057	1,094	1,100	6
普通教育認定	GCE 'O'	1,200	1,213	1,200	-13
上級教育認定	GCE 'A'	1,300	1,367	1,325	-42
秘書 (秘書資格あり)	PSC (Secretary)	1,500	1,527	1,500	-27
National ITE証	Nitec	1,200	1,254	1,268	14
Higher National ITE証	Higher Nitec	1,350	1,366	1,386	20
専門学校 (エンジニアリング)	Diploma (Engineering)	1,700	1,732	1,800	68
専門学校 (その他)	Diploma (Others)	1,600	1,682	1,650	-32
大卒 (エンジニアリング)	Degree (Engineering)	2,500	2,451	2,500	49
大卒 (その他)	Degree (Others)	2,300	2,293	2,350	57
経営学修士	MBA	2,900	2,909	2,969	60

(出所) SHRI、RDS調査結果(2010年5月等)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※GCE: General Certificate of Education

N = Normal, O = Ordinary, A = Advanced

※PSC: Private Secretarial Certificate

※Nitec: National (ITE = The Institute of Technical Education) Certificate

2. インフレ率の動向

賃上げ率検討の要素として、(1)インフレ率、(2)労働力需給、(3)自社の業績、などが考慮されると考えられる。ここでは、(1)の関連データとして「消費者物価動向」を掲載する。

【シンガポール: 実質GDP成長率、消費者物価上昇率推移(前年比)】

	実質GDP 成長率(%)	消費者物価 上昇率(%)
2007	8.5	2.1
2008	1.8	6.6
2009	-1.3	0.6
(2010年1-3月)	15.5	0.9

(出所) CEICより三菱東京UFJ銀行国際企画部CIBグループ作成

本レポートに関するお問い合わせ先

国際企画部 C I Bグループ 北村広明

E-mail: hiroaki_2_kitamura@mufg.jp

TEL: (東京)03-3240-7864

- ・ 本資料は情報提供を唯一の目的としたものであり、金融商品の売買や投資などの勧誘を目的としたものではありません。本資料の中に銀行取引や同取引に関連する記載がある場合、弊行がそれらの取引を応諾したこと、またそれらの取引の実行を推奨することを意味するものではなく、それらの取引の妥当性や、適法性等について保証するものでもありません。
- ・ 本資料の記述は弊行内で作成したものを含め弊行の統一された考えを表明したものではありません。
- ・ 本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。最終判断はご自身で行っていただきますようお願いいたします。本資料に基づく投資決定、経営上の判断、その他全ての行為によって如何なる損害を受けた場合にも、弊行ならびに原資料提供者は一切の責任を負いません。実際の適用につきましては、別途、公認会

計士、税理士、弁護士にご確認いただきますようお願いいたします。

- ・ 本資料の知的財産権は全て原資料提供者または株式会社三菱東京UFJ銀行に帰属します。本資料の本文の一部または全部について、第三者への開示および複製、販売、その他如何なる方法においても、第三者への提供を禁じます。
- ・ 本資料の内容は予告なく変更される場合があります。